

梨産地・西尾の春を告げる花 桜の季節に 梨の受粉作業がスタート

梨の産地である西尾市では、4月上中旬にかけて、梨の花が満開となり、受粉作業が行われます。

梨の花は桜とほぼ同じ大きさの白い花。農家の果樹園一面に広がる梨の花は、桜の名所にも負けないほど美しい光景です。その花の下で、梨農家は手作業でひとつひとつの花に花粉を付けていきます。



梨の花
花に付いているピンク色は、
花粉に混ぜた「石松子（せきしょうし）」。
受粉作業を行った目印です。

【メディア対応日】

【日時】4月10日（月）～14日（金）の各日、9時～15時ごろ

【集合】JA西三河 高河原センター

（西尾市高河原町埋田104-1 電話：0563-52-3030）

※高河原センターでの集合後、農家の梨果樹園へご案内します。
取材を希望される報道機関の方は、JA西三河企画課の岡田まで
お気軽にご連絡ください。

※当日の天候により受粉作業を行わない場合があります。その場合
にはJAより連絡いたします。

■西尾市の梨栽培

西尾の梨は、梨ひとつひとつに袋をかける有袋栽培をしているのが特徴です。産地全体で有袋栽培を行っているのは三河地域では西尾市だけ。袋掛けにより果皮を美しく仕上げ、病害虫の被害を防ぐとともに、農薬の使用量・回数を抑えることができます。

袋掛けが行われるのは6月頃。梨農家は雨の多い天候の間を見ても、小さな梨の実にひとつずつ袋をかけていきます。8月上旬ごろから始まる収穫のときまで、梨は袋の中で大切に育てられます。



（上）
4月の受粉作業



（右）
8月頃の収穫

【JA西三河梨部会 概要】

部会員数：70人 生産面積：約19㍏

生産量：約157㍏（見込み） 出荷先：主に愛知県内の市場

主な出荷品種と時期：

「幸水」（100㍏、8月上中旬）

「豊水」（46㍏、8月下旬～9月中旬）

「新高」（5㍏、9月下旬～10月上旬）

「あきづき」（5.5㍏、9月中下旬）